

氏名	小林 誠 KOBAYASHI Makoto
所属	大学院人間文化創成科学研究科
職名	教授
学位	法学修士
専門分野	国際関係、国際政治
URL	
E-mail	kobayashi.makoto@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

グローバリゼーション
国家
権力
市民社会
暴力

globalization
state
power
civil society
violence

主要業績

(共著) 片岡幸彦他編『グローバル世紀への挑戦』文理閣

研究内容 / Research Pursuits

グローバリゼーションは、領域ごとに封入された国家権力という制度の擬制を明らかにしつつある。国境を越えた社会的相互作用の中に国家権力は相対化され、権力の脱領域的な形成と行使が始まっている。それは暴力のグローバリゼーションという一面を持ち、その対抗策として（これまでの覇権的な言説の中にはない）コスモポリタニズムへの期待が生まれている。

Globalization has made it clear that today's institute of state power, which is contained in a given territory, has fictitious factors. Instead, power has been constituted beyond national borders, and it brings about a globalization of violence. A new thinking on cosmopolitanism is necessary to overcome this global problematique.

■ 教育内容 / Educational Pursuits

伝統的な国家の外交と戦争の関係を国際関係と見なす見方は、今日、有効性を失いつつある。多層的な権力関係として国際関係を見る目を養うことが重要である。

The traditional view that international relations is equal with the inter-governmental relations of diplomacy and war, is getting invalid. We should raise a new standpoint to consider international relations as multi-layered power system.

■ 研究計画

コスモポリタニズムの源流を古代ローマ哲学やカントにさかのぼることは有益である。とはいえ、その英知をあげつらう作業は一種不毛でもあり、それがグローバル化の時代に新たな言説として内部的に解体していく過程を考察するべきだろう。市民社会や国際関係についての共同研究において、その作業を進めたい。

■ メッセージ

伝統的な知のあり方を批判的に捉え直すことがわれわれの大きな責務である。とりわけ国際関係論・国際政治学は、暴力を抑制することに失敗を重ねてきたことを真摯に反省すべきであり、反省から未来を構想することが大学の具体的な使命である。こうした試みをともにしようとする人たちの開かれたフォーラムとして大学はある。